

## 第2回 志免町総合計画審議会 議事要旨

1. 日時：令和7年1月22日（水）10：00～11：30
2. 場所：志免町役場 第1・2委員会室
3. 出席者（敬称略）：【委員】石橋委員、小出委員、澤田委員（副会長）、白水委員、田邊委員、野上委員、野中委員、福壽委員、牟田口委員、宗像委員（会長）、百田委員、吉岡委員  
【事務局】経営企画課長、経営企画課長補佐、政策推進係長、政策推進係員、有限責任監査法人トーマツ（策定支援業者）
4. 要旨

### 1. 開会のことば

#### ○宗像会長

- ・本日の議題のメインは第6次志免町総合計画後期基本計画の枠組みである施策体系案の審議であります。これまでの審議の経過を踏まえて事務局から説明していただきたいと思っております。

### 2. 議題

#### (1) 基礎調査結果の報告について

策定支援業者より基礎調査（資料1）について P5・P21・22・P27・P30・P31・P47・P62の説明を行った。

#### 【質疑応答】

#### ○福壽委員

- ・今説明いただいた調査内容は地方都市としての結果が出ていると思うが、特に志免町ならではの問題があれば教えてほしい。

#### ●事務局

- ・他自治体では人口は減少の傾向にあるところを人口増の結果が出ている。この結果は志免町の特徴的な現状になる。
- ・特有の課題となりますと、資料1の15ページによると外国人人口が増えている。令和元年や令和2年頃はコロナ禍の影響で下がる傾向にあるが、右肩上がりの数値になるのは珍しい。今後も増えていくことが見込まれるので、こちらの対策が必要になる。

#### ○小出委員

- ・資料1の81ページで防犯対策を行っている町民の割合は高い数値が出ているが、ど

のような人を集計した結果になるのか。

●事務局

- ・町民アンケートを行い、無作為抽出で2,000人の回答の結果となる。

○澤田副会長

- ・近隣地区との比較があるが、志免町は面積が狭いので、例えば久山町と病院数を比べられても違和感がある。近隣地区といっても環境が違うので単純に比べてしまうと読み誤ってしまうのでは。

●事務局

- ・公共施設の配置については個別施設計画の中で校区ごとの傾向を出しているの、総合計画の基礎調査では全体の傾向を出している。指摘内容については、個別施設計画の今後の進捗で生かしていきたい。

(2) 町民ワークショップ及びプロジェクトチーム会議の報告について

策定支援業者より町民ワークショップ(資料2)、プロジェクトチーム会議(資料3)、子ども向けアンケートについての説明を行った。

【質疑応答】

○福壽委員

- ・資料2の「主な意見」の表の下線があるものは、複数意見があったという理解で良いのか。

●事務局

- ・お見込みの通り、複数の声が上がったり具体的なエピソードを踏まえた意見など、事務局で特に重視するべきと判断した意見を強調している。

○田邊委員

- ・ワークショップに参加された方の年齢・性別のバランスはどのような形だったか。
- ・ワークショップの第2回は実施されるのか。

●事務局

- ・17名の参加者のうち、8名が男性、9名が女性となっている。平均年齢が56歳で、最年少が23歳の大学卒業後の方、最年長は73歳の方。まんべんなく参加していたという認識である。
- ・回数は1回で予定している。

○白水委員

・ワークショップ参加者はどのように集めたのか。

●事務局

・公募で募集し、ホームページ等で呼びかけを行って参加していただいた。

○石橋委員

・過去2回、町議の方がワークショップを開催された経緯がある。高齢者の参加者が多い。町議ワークショップの統計は見込まれていないのか。

●事務局

・町議のワークショップの存在は知っているが、内容までは把握していない。今回のワークショップは総合計画の策定のため、幅広い年齢層の方に意見をいただくために実施したものになる。

○宗像会長

・プロジェクトチームはどのようなメンバーで構成されているか。

●事務局

・各課の業務に精通した若手から中堅の職員を、事務局からピックアップして参加していただいている。

### (3) 施策体系について

事務局より施策体系案について（資料4）説明を行った。

#### 【質疑応答】

○百田委員

・この施策の先、それぞれの担当部署での取組はここでは議論しないのか。

●事務局

・今回は大きな枠組みの審議になる。施策体系が確定したら各課に施策立案シートを作成していただき、現状や課題を整理して中身の部分を作っていく。そういった中身が固まった段階で、改めて委員の皆様にご意見をいただく。

○百田委員

・子どもの居場所を作るなど具体的な話が出たが、「人権の尊重」は高齢者・大人・障がい者に限られていて、子どもの人権は含まれていないイメージがある。ここに子どもの尊重を含めてほしいと常々思っている。審議会での意見を反映していくようお願いしたい。

●事務局

・委員の意見が取り入れられるよう努める。

○福壽委員

- ・今示されている施策体系案は目次と認識している。この目次に対して特にどの項目に注力していくのか教えていただきたい。

●事務局

- ・施策体系案が固まったら、町民の意見や指標などを加味して今後の5年間で注力していく施策を審議会場で示しながら決めていく。

○田邊委員

- ・施策2「スポーツ・文化活動の振興」と生涯学習の分野で打ち出しているが、子どもたちの運動の機会や場が減ってきているのが懸念だったので、生涯学習の施策を打ち出してもらえて感謝する。

○牟田口委員

- ・コミュニティスクールという概念が令和3年頃から動き始めている。防犯の拠点を学校に置くという趣旨で、地域全体がまちづくりに参加していくというもの。この概念をどこに入れるかというところ施策7になるかと思う。今後、コミュニティスクールの取り組みを入れてほしい。

●事務局

- ・現行計画では施策6にコミュニティスクールの推進という取り組みはある。一つの施策として出すというより、学校教育の中の取り組みの一つとして推進していく考えである。

○石橋委員

- ・子育て支援、学校教育、防犯等に関係するが、近年再犯者が増えている。施策の中で対策も含めて具体的に考えてほしい。

●事務局

- ・保護司についての取り組みも現行計画でもあるので、施策の振り返りや意見を生かし、次期計画に反映していきたい。

○野上委員

- ・健康福祉の分野で「地域福祉の充実」が増えたということだが、総合福祉計画の審議会と連動して打ち出した施策ということか。

●事務局

- ・プロジェクトチーム会議メンバーで話し合い、高齢者福祉の分野に溶け込んでいた地域福祉を今回一本化するということであると考えている。

○福壽委員

- ・行政分野は新設されたものが多いが、この施策に連なる取り組みはあまり細分化されていないのではないか。ここまで細分化された理由を教えてください。

●事務局

- ・今後加速する社会情勢に対応していく意図とともに、施策ごとに複数の課がまたがっていると意思決定が遅れることもあり、1施策1課になるよう組織体系も踏まえた施策体系となっている。

○石橋委員

- ・不動産を中国人が買い取ることがあり、各自治体で問題になっていると聞く。行政としてそういった問題が出た時にどのように対策していくのか。

●事務局

- ・志免町における取組の中で現状や課題になるご意見と認識している。担当課に意見を伝えて検討していきたい。

○野上委員

- ・1施策1課に分けると仕事はしやすくなるかもしれないが、縦割り行政を強調するのではないかと。

●事務局

- ・施策体系上では分野ごとに縦割りにしていくが、この下の個別計画では横串して連携を図れるようにしていく。

○百田委員

- ・縦割りになるのではとの懸念があったが、教育関係などはしっかり連携が取れているのが志免町の特徴だと思っている。そういった点では専門性を生かした職員の異動も人材育成につながるのではないかと。これだけ網羅されていると人材不足になるのではないかと心配もある。優秀な職員が増えているので、その力を発揮できるようにしていただきたい。

●事務局

- ・貴重な意見として各課で共有していく。人材不足はDX推進による業務改革で補い、人の手が必要なところを手厚くしていきたい。

○澤田副会長

- ・上下水道の施策が分かれたのは、組織体系からの理由か、それとも上下水道の施策を強化するためか。

●事務局

- ・理由は前者となる。一般会計や企業会計などが分かれるので、健全な経営をしていくために分けた形となる。

○福壽委員

- ・施策18の「持続可能な行政経営」について、個々の自治体や地域同士で複数の公園などを一緒に管理していく考えがある。志免町の立地的に取り入れられる考え方だと考えるので、今後の施策の中で盛り込んでいただきたい。

●事務局

- ・今後実際の施策立案段階で、貴重な御意見として承らせていただきたい。

○石橋委員

- ・資料1の外国人人口傾向の増加が見込まれているが、帰化されるかどうかを見込んでいるのか。

●事務局

- ・定住される人はあまり多くない。肌感ではあるが、外国人の方が身近に増えてきているという認識はある。

○宗像会長

- ・外国人の人口が増えていくことに対応する施策はどこに該当するのか。

●事務局

- ・施策1の多文化共生では日本語講座などしているが、その他の問題に関しては様々な施策の中にまたがっていると考えている。

○宗像会長

- ・施策体系について、修正等の意見はないか。
- ・特に意見がないため、審議会としては事務局案の施策体系に基づき、今後の策定を進めてもらいたい。

### 3. その他

○事務局

- ・3月から4月あたりに第3回審議会を想定している。次回の内容は、今回確定した施策体系から、さらに具体的な計画づくりを町で進めていき、それをまとめた基本計画素案の経過報告になる。

### 4. 閉会のことば

○宗像会長

- ・本日の審議会を終了する。スムーズな議事進行に協力いただき御礼申し上げます。また次回  
よろしく願います。

以上